



国際ロータリー第2840地区 2016-2017 年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

RID2840 / GUNMA JAPAN / 2016-2017

To Rotary club presidents and secretaries

THE ROTARY FOUNDATION



YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD



人類に
奉仕する
ロータリー

母子の健康月間

2017.4.1

Vol. 10



目次

平成 29 年 4 月号

ガバナーメッセージ	1
ローターアクト地区年次大会	3
第4分区A・B合同IM	5
米山奨学生修了式・奨学歓送会	6
青少年交換学生移動オリエンテーション報告	7
桐生西ロータリークラブ第2200回記念例会のご案内	8
米山記念館だより	9
新入会員紹介	10
文庫通信	11
出席報告	12
ガバナー事務所よりお願い	13



「母子の健康」月間に寄せて

2017年4月1日

国際ロータリー第2840地区
2016-2017年度 ガバナー 豊川一男

日本の各地より桜の開花の便りが寄せられ、「春うらら」なにかと浮き浮きした季節にロータリアンの皆様は、充実したロータリーライフを楽しんでいますでしょうか。

4月は「母子の健康」月間です。

日本の「母子の健康」の歴史は、戦時中1942年（昭和17年）7月13日発行の厚生省「妊産婦手帳」に始まります。戦後、1947年（昭和22年）児童福祉法が施行され、翌1948年（昭和23年）に「母子手帳」に衣替えされ充実がはかられました。

1947年の乳児死亡率1000人に対して76.7人でした。

（ロータリーの創立年度1905年1000人に対して151.7人）

1966年（昭和44年）「母子健康法」が施行され、翌1967年（昭和42年）「母子健康手帳」に衣替えされ現在に至ります。2015年（平成27年）乳児死亡率1000人当たり1.9人まで改善されました。

出典 「日本歴史新聞366」[e-stet]

日本は70年以上の年月をかけ、国民がたゆまぬ努力を積み上げた結果です。しかし、日本国民の努力だけの結果ではありません。戦後の復興手助けとして多くの世界の人々の支援・協力があってこそ達成されました。

世界の現状では、毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、推定590万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。出産や産後に母親が重要な役割を果たすことは世界中どこでも共通することですが、その母親や子どもが出産・出生時に命を落としたり、その後に病気に罹ったりする確率は、国によって大きく異なります。

例えば、東アフリカでは、39人に1人が妊娠の合併症で命を落とし、9人に1人の子どもが5歳の誕生日を迎える前に亡くなっています。これと対照的に先進国では、妊娠合併症による死亡者は4,700人に1人、5歳未満の死亡は167人に1人です。全世界では、毎日、19,000人の子どもが亡くなっています。

「母子の健康」月間に寄せて

ガバナー 豊川 一男

ロータリーは、世界のあらゆる地域で、母親と子どもの健康を守るための活動を行っています。それらの情報はロータリーのリソースにおいて世界のロータリアン奉仕活動の事例報告などとして提供されています。

私たちロータリアンには、独自に世界社会へ「母子の健康」プログラムを立案・実施する機会がたくさんあります。更には、ロータリー財団グローバル補助金プログラムを活用して地元ロータリアン・近隣ロータリアンと合同することで、独自の事業とは異なる、より効果的かつ持続可能な事業を展開することができます。

奉仕プログラムにおいてロータリアンの見方・考え方・実行力はとても重要ですが、最も重要なことは何でしょうか？「人類すべての人々が幸せを願っています」「人類すべての人々が幸せに成る権利があります」

本年度、RI ジョンF・ジャーム会長テーマ

「人類に奉仕するロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY

を實踐して、ロータリアンの幸せを実感しようではありませんか。

私の好きなポール・ハリスの名言

ロータリーとその子どもたち（いわゆる他の奉仕クラブ）は私たちの選んだ範囲内の社会的進歩にだけ寄与するものとみなすことができます。私たちは自らとその活動に対して適正な物の見方ができます。自己満足してはなりません。私たちは逆境なときも順境にあるときも変わらず、平和においても戦時に際しても敢然と事に立ち向かう覚悟がなくてはなりません。思考力を硬直化させてはなりません。私たちはいつまでも成長してやむことはないでしょう。

心底からロータリーに関心を抱く人々はこのように信じているのです。

世界は絶えず変化しています。

そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。

ロータリーの物語は何度も何度も書き替えられなければならないでしょう。

(ロータリーの理想と友愛)

Those who have Rotary's interests at heart trust that we may always continue to view it and its children, the other so-called service clubs, as contributions merely to social progress within our chosen sphere; that we may view ourselves and our work in proper perspective; that we may never become complacent; that we may stand ready to face adversity or prosperity, war or peace; that our thoughts may never become crystallized; that we may ever continue to grow. This is a changing world; we must be prepared to change with it. The story of Rotary will have to be rewritten again and again.

(This Rotarian Age)

第17回地区年次大会 in 桐生

国際ロータリークラブ第2840地区ローターアクト 2016-2017年度



地区副幹事 和田 雅之 (碓氷安中)

去る2月11日、桐生プリオパレスに於いて、ローターアクトクラブ(RAC)の年次大会が開催されました。

市川宜勅実行委員長の開会宣言の後、笹口真希地区ローターアクト代表と共に、地区8クラブ会長一斉に敲かれた点鐘が、高らかに鳴り響きました。

今年度、笹口RA代表は地区ターゲットに「#(ハッシュタグ)FUN」「ローターアクトクラブを楽しんでいますか?」を掲げ、今回の大会テーマは「アクティブ」としました。

来賓には、開催地の亀山豊文桐生市長を始め、ロータリークラブ豊川ガバナー以下地区役員が招かれました。また参加者には、友好地区ローターアクトクラブの会員が新潟、東京、埼玉、栃木、茨城からはるばる駆けつけ、登録総数218名の盛大な大会となりました。

大会は4部構成から成り、午後1時半から7時半まで「開会式」「記念プログラム」「閉会式」「懇親会」と円滑に進行され大成功裏に幕がおりました。

特に記念プログラムにおいては、2840地区ローターアクトクラブの活動や地区内各クラブの活動報告が、時には寸劇を交え映像、音楽で表現され、青年らしくさわやか且つわかりやすく紹介され、我々ロータリアンの活動にも参考となり、目を見張るものがありました。

懇親会も「#FUN」の心を感じるような楽しい一時でした。

飯島千明地区ローターアクト委員長、各委員、提唱ロータリクラブ各会長の指導の下、30歳以下のローターアクターの青年達の健全な育成から、素晴らしい将来のロータリアンが誕生していくよう願ってやみません。

第17回地区年次大会 in 桐生

国際ロータリークラブ第2840地区ローターアクト 2016-2017年度



スプーン競争



笹口代表挨拶



吉田ホスト RC 会長



他地区 RA



テーマ #FUN



点鐘



飯島 RA 委員長



二人羽織



表彰

第4分区A・B合同IM報告

国際ロータリー第2840地区 2017-2018年度

木暮 雅丈 (館林RC)

2月18日館林市で第4分区A・B合同のIMが開催されました。ホストは館林クラブ、参加者は132名、新田クラブの今野会員の司会進行で、星野ガバナー補佐の開会の言葉、宮内ガバナー補佐の点鐘で開会されました。豊川ガバナーの挨拶、高木パスト・ガバナーの祝辞を頂き、来賓高木・竹内両パスト・ガバナー、田中ガバナー・エレクト、市村地区幹事、林地区副幹事、続いて10クラブ会長が紹介されました。

次に、記念講話は豊川ガバナーのOHPを使った「ロータリーを知ろう」でありました。1905年2月23日第1回例会の様子、「奉仕」の概念がシカゴ・クラブの定款に規定された事情、職場例会から食事のできるホテルなどを例会場とするようになった顛末、ロータリーマーク変遷の歴史などロータリーの精神と歴史の講話で、参加者が大いに感銘を受けました。

次に、「友情と奉仕」のテーマのもと次年度会長の熱のこもった発表が行われました。田中ガバナー・エレクトの講評を頂き、宮内補佐の謝辞で閉会となりました。

懇親会は館林クラブの後藤会員の司会進行のもと、竹内パスト・ガバナーの祝辞で開宴されました。東洋大学学生のDUOによるバラードを中心とした歌を聞きながら皆さん楽しく懇親を深めることができました。



米山記念奨学生終了式及び歓送会

国際ロータリー第 2840 地区 2017-2018 年度



2017年2月19日(日)に、ホテルメトロポリタン高崎にて、米山記念奨学生終了式と歓送会が行われました。初めに、豊川一男ガバナーから、米山記念奨学生やカウンセラーの方々に、「一年間大変お疲れ様でした」との労いの言葉を頂き、そして、役員の皆様からのご挨拶を頂いてスタートしました。

一年間の感謝を込めて、カウンセラーの皆様にご挨拶と米山記念奨学生には終了証を贈呈させて頂きました。記念撮影後、米山学友会 秋山裕昌会長からご挨拶を頂き、続いて、市村地区幹事の乾杯のご発声で懇談会がスタート致しました。その中で、米山記念奨学生とカウンセラーより感想と御礼のお言葉を頂きました。この委員会は、メンバー同士が蜜に連絡を取り合う程、大変なことが多いような気がしましたが、皆様の感想や御礼を頂けると、私たちも頑張ってきて良かったと感激すると同時に、一緒に頑張ってきた委員会メンバー同士の絆が深まっていることに気づかされた、とても有意義な時間を過ごすことができました。



事業終了後、米山奨学生委員会の一コマを取材させて頂きました。メリハリのある委員会ですごく雰囲気の良い委員会でした。





青少年交換学生移動オリエンテーション報告

国際ロータリー第 2840 地区 2017-2018 年度

青少年交換委員会 副委員長 原 敬

2月26日(日)、青少年交換学生を対象にした移動オリエンテーションが開催されました。

長期受入学生の5名をはじめ、ホストファミリーの皆様、ROTEX(青少年交換学友)、関根青少年交換委員長他委員、さらに次年度派遣候補生が参加しました。

また今回は、ROTEXの企画により、2550地区(栃木県)と合同での開催となりました。

2550地区も5名の青少年長期交換学生を受入しており、2550地区からはその5名の学生とROTEX3名の計8名、総勢38名の参加で、バスで一路東京ディズニーシーに向かいました。佐野SAが2550地区の皆さんとの合流場所でしたが、青少年交換委員会の皆さんも送迎に来てくれて、短い時間でしたが情報交換も出来ました。

当地区の学生5名は全員アメリカから来ていますが、2550地区の学生は、フランス、イタリア、アメリカ、タイ、台湾とそれぞれ出身地が違いました。

学生達は、バスの中、そして目的地でも互いに交流し、楽しそうに色々な話しをしていました。

来日して6ヶ月経過しましたが、学生達に対し、同行したROTEXが様子を聞き取りしてくれました。個人差はありますが、日本語も上達し、学校や日本の生活に順応して頑張っている様子が伺えました。よい息抜きの日にもなったと思います。

交換学生生活も折り返しを過ぎました。学生達が国際親善大使としての目的を達成できますよう、残る期間も皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

桐生西ロータリークラブ第2200回記念例会のご案内

RI第2800地区パストガバナー・RI会長代理歴任

藤川享胤氏記念講話

演題「ロータリアンの矜持」

桐生西ロータリークラブは、1971年11月20日、世界で15,000番目のクラブとして誕生し
本年4月28日(金)に第2200回目の例会を迎えます。

そこで、当クラブ会員とご縁がある藤川享胤氏をお招きしてご講演を頂くことになりました。

藤川享胤氏は、国際ロータリー第2800地区(山形県)のガバナーを務められ、
その後、国際協議会の研修リーダーや各地区大会のRI会長代理を務められるなど、
日本のロータリーを代表されるお一人です。

是非、ひとりでも多くのロータリアンにご参会いただき、
貴重なお話をお聞きいただきたく、ここにご案内させていただきます。

2017年4月28日(金) 点鐘PM6:00

桐生プリオパレス(桐生市堤町3-5-23・TEL0277-47-4122)



講師:藤川享胤(ふじかわ きょういん)氏

1947(昭和22)年生まれ

曹洞宗 般若寺(山形県鶴岡市)代表役員、宗仙寺(京都府京都市)兼務住職
元曹洞禅インターナショナル会長

《ロータリー歴》

1978年 鶴岡ロータリークラブ入会

1980~1981年 クラブ幹事

1997~1998年 クラブ会長

1999~2000年 国際ロータリー第2800地区ガバナー

2002~2004年 RI国際協議会研修リーダー および
ロータリー財団第1ゾーンRRFC

2005~2006年 SAA国際委員会副委員長

各地区大会でRI会長代理歴任、およびゾーン各種コーディネーター歴任

ロータリー財団メジャードナー

ロータリー米山記念奨学会メジャードナー

受付開始:午後5時30分~

点鐘:午後6時

記念講話:午後6時15分~7時

講演会終了後、藤川PGを囲んで懇親会を行います。

参加費:5,000円(講演会のみは無料)

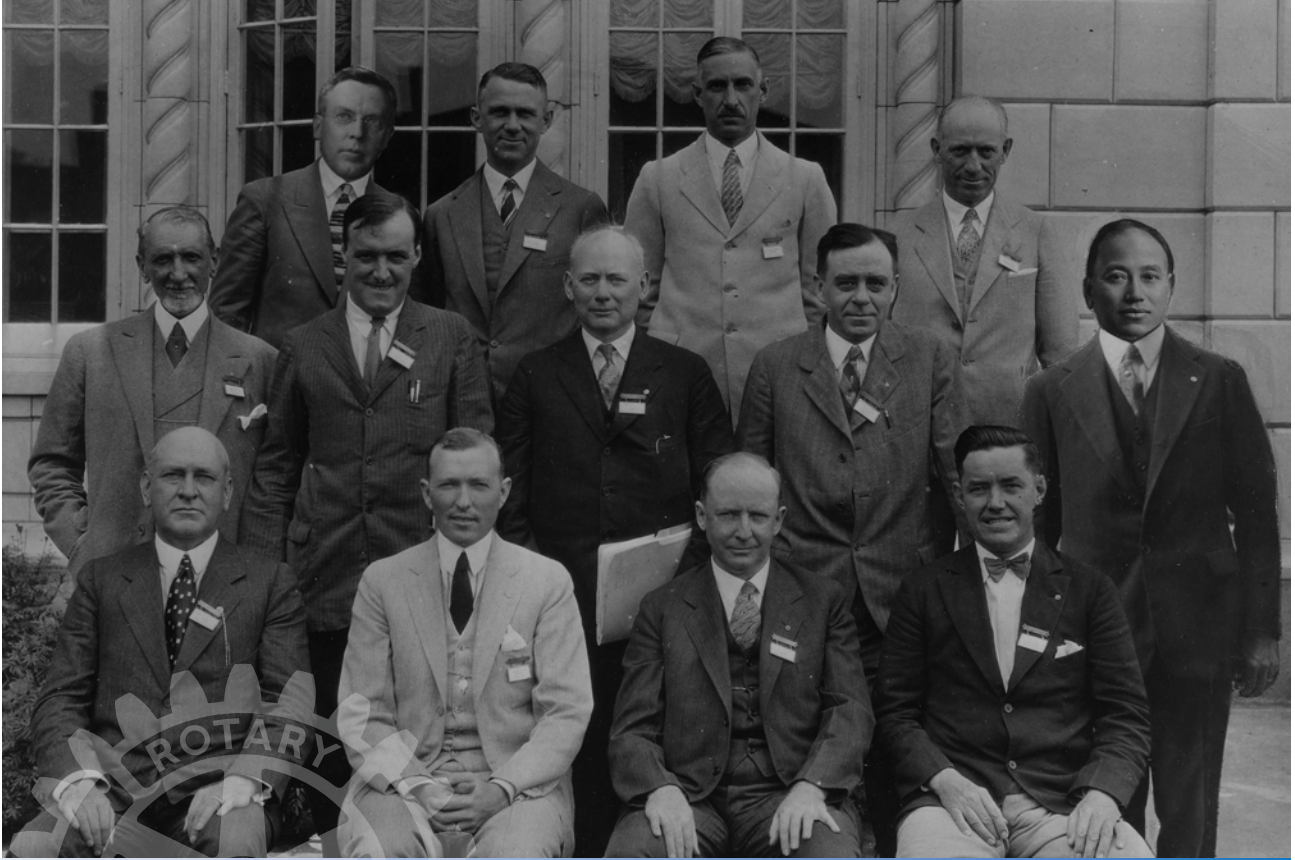
お申し込みは、メール若しくはファックスにて桐生西RC事務局にお申込み下さい。



申込先・お問合せ先:桐生西ロータリークラブ事務局(桐生プリオパレス内)

E-mail: kiryu-nishi@rid2840.jp

TEL 0277-22-9155 • FAX 0277-44-2777



米山梅吉記念館便り

4月号 米山梅吉の横顔

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑧ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、46歳で「新隠居論」を著しました。一旦名を成した男子はすべからく後進に道を譲り、社会事業に貢献すべしという内容で、報恩会はこの信条の実践の場でした。当時三井一族が3,000万円、現在換算では800～900億円ともいわれる出資をし、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立されました。理事長は米山でした。



昭和11年、岩手県視察の三井報恩会一行
(前列中央・米山) (財)三井文庫提供

ハンセン病への助成出資はもちろん米山は昭和15年から青森から沖縄のハンセン病棟を訪ね、癌には100万円でラジウムを寄付、結核療養所もほとんど訪問し、高額な寄付もしています。農村振興も多岐にわたり東北の疲弊した農村を復興させ、西平内村には謝恩の記念碑が今も建っています。

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典／講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館 登録料無料 アトラクションあります。多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 **米山梅吉記念館**
〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

[開館時間] 午前10時～午後4時
[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。



新会員紹介

国際ロータリー第 2840 地区 2016-17 年度



氏名 真下 大輔
クラブ 沼田中央
入会日 2017年1月5日
職業分類 生花店
勤務先 (有)花政園芸センター
役職 代表取締役
推薦者 今井 誠



氏名 中嶋 歩積
クラブ 沼田中央
入会日 2017年1月5日
職業分類 弁護士
勤務先 群馬沼田法律事務所
役職
推薦者 堤 浩恵



氏名 小坂 景子
クラブ 安中
入会日 2017年1月10日
職業分類 弁護士
勤務先 安中法律事務所
役職 所長
推薦者 松岡 将之



氏名 塚越 隆史
クラブ 桐生
入会日 2017年2月13日
職業分類 瓦斯供給
勤務先 桐生瓦斯株式会社
役職 代表取締役社長
推薦者 堀 明・朝倉剛太郎



氏名 浅野 香奈
クラブ 伊勢崎中央
入会日 2017年2月16日
職業分類 造園業
勤務先 (株)ならはら園芸
役職 取締役
推薦者 小林正弘 泉 哲雄



氏名 北原由美子
クラブ 伊勢崎中央
入会日 2017年2月16日
職業分類 花火製造業
勤務先 (株)球屋北原煙火店
役職 副社長
推薦者 羽鳥基宏 滝川勝賢



氏名 大坪 伸二
クラブ 前橋南
入会日 2017年3月8日
職業分類 建築設備設計
勤務先 有限会社オオツボ
役職 代表取締役
推薦者 伊能 伸行



氏名 朝比奈浩治
クラブ 渋川
入会日 2017年3月9日
職業分類 運送業
勤務先 朝比奈運送(株)
役職 代表取締役社長
推薦者 佐藤 秀樹



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演他

- ◎「日本の出番、祖国は甦る」 青山繁晴 2016 1p (D.2680 地区大会記録誌)
- ◎「世界の中の日本」 五百旗頭 真 2016 9p (第44回ロータリー研究会報告書)
- ◎「日本のこころ」 松長有慶 2015 7p (D.2660 地区大会記録書)
- ◎「職業奉仕の今日的課題と持続企業」 パネラー：前川洋一郎・山本泰人・中川雅雄
2016 6p (D.2580 地区大会記念誌)
- ◎「21世紀をどう生きるか」 安平和彦 [2016] 15p (D.2670・D.2680 第38回RYLA報告書)
- ◎「現代家族の課題」 白石大介 [2016] 12p (D.2670・D.2680 第38回RYLA報告書)
- ◎「ダウン症の娘と共に生きて」 金澤泰子 2017 6p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「夢に向かって」 根木慎志 2016 7p (D.2750 第36回インターアクト年次大会報告書)
- ◎「若者の未来のためにできること」 養老孟司 2015 11p (D.2660 地区大会記録書)
- ◎「父が見つけてくれたもの」 小林 真 2011 6P (奉仕のともしびを高く掲げて)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



出席報告

2017年2月

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	2,058	2,104	2,109	5	136	79.30

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	74.50	118	117	117	0	10
	前橋西	4	84.00	56	59	60	1	5
	前橋東	4	88.12	60	58	58	0	5
	前橋北	4	91.93	69	74	74	0	4
	前橋南	4	96.71	32	38	38	0	1
	前橋中央	4	69.07	28	29	29	0	7
	合計		84.05	363	375	376	1	32
	第2分区A	桐生	4	81.11	67	67	68	1
桐生南		3	74.67	25	25	25	0	1
桐生西		4	86.59	61	59	59	0	5
桐生中央		4	67.50	22	21	21	0	3
桐生赤城		4	81.87	44	44	44	0	8
合計			78.35	219	216	217	1	23
第2分区B	伊勢崎	4	91.62	79	85	85	0	4
	群馬境	4	90.63	21	24	24	0	1
	伊勢崎中央	4	82.94	80	83	85	2	5
	伊勢崎南	3	86.21	28	28	29	1	1
	伊勢崎東	4	86.37	31	33	33	0	2
	合計		87.55	239	253	256	3	13
第3分区	高崎	4	87.39	117	117	117	0	10
	高崎南	4	67.76	65	69	69	0	7
	高崎北	4	77.37	68	65	65	0	0
	高崎東	3	79.28	38	40	40	0	1
	高崎シンフォニー	4	69.05	42	42	42	0	4
	高崎セントラル	4	62.68	37	36	36	0	0
	合計		73.92	367	369	369	0	22

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	4	88.36	71	73	73	0	3
	太田西	4	93.02	17	18	18	0	2
	太田南	3	87.87	43	47	47	0	2
	新田	4	88.89	17	18	18	0	0
	太田中央	4	80.95	54	58	58	0	3
	合計		87.82	202	214	214	0	10
	第4分区B	館林	4	81.00	50	50	50	0
大泉		4	79.53	33	33	33	0	3
館林西		4	78.40	22	22	22	0	1
館林東		4	64.13	24	23	23	0	3
館林ミレニアム		3	78.20	26	27	26	-1	0
合計			76.25	155	155	154	-1	9
第5分区	渋川	4	89.72	58	61	61	0	5
	沼田	4	55.79	67	71	71	0	1
	草津	3	42.11	19	19	19	0	1
	中之条	4	85.00	21	21	21	0	1
	沼田中央	4	66.21	59	55	55	0	4
	渋川みどり	4	79.90	38	38	38	0	2
	合計		71.29	262	265	265	0	14
第6分区	富岡	4	93.94	46	45	45	0	4
	藤岡	5	81.93	52	53	53	0	3
	安中	4	60.42	44	48	48	0	2
	藤岡北	4	89.20	16	17	17	0	1
	富岡中央	4	83.93	39	39	39	0	1
	碓氷安中	4	67.28	10	10	11	1	1
	藤岡南	4	73.02	17	18	18	0	1
	富岡かぶら	3	72.84	27	27	27	0	0
	合計		77.82	251	257	258	1	13

ガバナー月信に関して

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 toyokawa@rid2840.jp まで送信してください。写真等の画像がある場合は、JPEG データでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締切りは毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信の PDF データを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくをお願いいたします。

表紙の写真 旧蚕糸試験場事務棟 (蚕糸記念館)

所在地 前橋市敷島町 262(敷島公園ばら園内)

見学 4月～11月の土・日・祝日のみ開館 詳細は問い合わせのこと

交通 JR 両毛線前橋駅からバス約 20 分 + 徒歩約 5 分 関越自動車道前橋 I.C から約 15 分

問合せ 前橋市文化財保護課 TEL 027 - 280-6511

この建物は、明治 45 年 (1912) に国立原蚕種製造所前橋支所事務棟として、現在の前橋市昭和町に建てられ、昭和 55 年 (1980) まで蚕糸試験場として使われました。玄関の柱や天井飾りに特徴を持つ明治末期の代表的な洋風木造建築物です。

また、前橋市内で使用された江戸時代後期～昭和初期までの養蚕・製糸用具と、養蚕信仰関係及び国立原蚕種製造所関係など 633 点の資料です。地域の養蚕・製糸業の様子と変遷をよく示すもので、蚕糸記念館で展示されています。



国際ロータリー第 2840 地区 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841 email : toyokawa@rid2840.jp